

令和7年度 第2回川崎市社会教育委員会議・中原市民館専門部会 会議摘録

- 【日時】 令和7年10月3日（金）10時00分～12時00分
【会場】 中原市民館第2会議室
【出席者】 川崎部会長、日吉副部会長、安藤委員、山本委員、山田委員、木村委員、赤野委員
【欠席者】 五十嵐委員
【事務局】 福田担当課長、船津課長補佐、中島職員
【指定管理事業者】 土戸館長、高田副館長、神山副館長、工藤職員
【傍聴者】 1名

専門部会の委員8人中7人が出席し、委員の過半数を満たしており、部会は成立。

〈資料〉

- 資料1 令和7年度 第1回川崎市社会教育委員会議中原市民館専門部会摘録（案）
資料2 令和7年度 中原市民館の管理運営について
資料3 令和7年度 中原市民館社会教育振興事業について
資料4 川崎市社会教育委員会議中原市民館専門部会委員名簿
資料5 第1回中原市民館利用者懇談会（実施報告）
資料6 市民館だより10月号
資料7 中原市民館専門部会の所掌事務について

- 1 開会
- 2 資料確認
- 3 令和7年度第1回中原市民館専門部会の摘録（案）について
船津課長補佐）資料1について確認。摘録として成立する承認を得た。

4 議事

（1）報告事項

- ア 市民館の管理運営並びに社会教育振興事業について

土戸館長）資料2について説明。

工藤職員）資料3について説明。

山田委員）シニアの社会参加支援事業におけるデジタルサポートとは何か。また、市民エンパワーメント研修とは何か。

工藤職員）デジタルサポートとはスマホ操作を支援するというもの。例えば、国勢調査のオンライン回答やキャッシュレス決済等の操作が思うようにできない人たちを支援する。市民エンパワーメント研修は地域で活動を担う人を育てていくというもの。

木村委員）1月以降の現在調整中の事業について質問したい。平和・人権・男女平等推進学習は企画委員を募集して行うのか、それとも中原市民館の職員内で企画して実施する予定なのか。

工藤職員) 指定管理の初年度ということで、まずは中原市民館の職員内で企画をしたい。今年度は企画委員を募集しないが、いずれは募集ができるよう配慮する。

イ 利用者懇談会の開催について

高田副館長) 資料5について説明。令和7年9月28日に開催した。毎年2回くらい開催したいと考えている。周知方法や実施方法は今後検討していきたい。

木村委員) 利用者懇談会を料理室で開催した理由は何かあるのか。

土戸館長) 気軽にお茶でも飲みながら意見交換ができたという意図で料理室とした。

木村委員) そのような意図があったと想像できたが、チラシ等の広報の際にそのような誘い文句がないと料理室しか確保できなかったかのように感じる。

土戸館長) 次回以降、御意見を参考にさせていただく。

ウ 中原市民館EXPO2025の開催について

高田副館長) 資料6について説明。令和7年8月23日に開催した。当日約500名の来場あり。来年度は令和8年8月8日に開催予定。

エ その他

山田委員) 駐輪場についてだが、中原市民館の利用者でない方が駐輪場を使用しているのが見受けられる。大きなイベントを館内で行う時は、市民館利用者であるかを聞くことができるが、そうではない時は聞くことができない。駐輪した自転車を取り出すことができない時もあった。対策はないのか。

土戸館長) 利用者懇談会の際にも駐輪場が使いづらいという意見があった。今後、内部での検討及び区生涯学習支援担当へ相談を行っていく。市民館利用者ではない方による駐輪場の利用については、対応できる部分とできない部分がある。できる限り適正な利用をしてもらえよう、巡回等を含めて対応する。

山本委員) 駐輪場が上下2段になっている点について危険だと考える。また、乱暴に駐輪する人がおり、前輪が収まる部分の枠が広がると補修が必要となり、前輪が細い自転車が利用することができなくなる。他施設の駐輪場においても2段式のものは使いづらい。住人が自転車に駐輪場シールを貼って住人の自転車だとわかるようにしているところもある。そのような対応をしてはどうか。

土戸館長) 市民館職員とかわさき市民活動センターの職員の自転車は目印をつけており、見分けることができるようになっている。駐輪場の前輪が収まる部分の枠補修についてはすぐに対応できるわけではないが、対応を検討していく。

(2) 協議事項

ア 市民館だよりのリニューアルについて

土戸館長) 6月号から市民館だよりのリニューアルを行った。掲載する記事については職員同士で話し合い、10月号からは募集や告知記事だけではなく、開催報告を掲載した。指定管理になってから編集に好意的な意見が多い一方で、カラフルすぎるという意見もある。委員の皆様の御意見をいただきたい。

川崎部会長) すごくキラキラしている。トーンが以前とは違う。

山本委員) 構成やレイアウトは誰が考えているのか。

土戸館長) 職員が考えている。

山本委員) 多色刷りは写真がカラーになるというメリットがあるが、2・3ページ目はカラフルすぎると感じる。下地の色を統一させる必要があるのでは。また、イラストの大きさが問題であり、空きスペースも必要。写真を活かすのであれば写真を中心にカラーをもってきて、題名や文章には統一感を持たせたらよい。

土戸館長) 職員7人で分担して作成していることによって、逆に統一性がなくなっている側面もある。今後の参考にさせていただく。

イ 川崎市社会教育委員会議規則 別表(第6条関係)に掲げる所掌事務の効果的な進め方について

船津課長補佐) 資料7について説明。利用者懇談会で取り扱う内容と専門部会で取り扱う内容について、適切にすみ分けをする方向としたい。

木村委員) それぞれの委員が選出された母体の中で意見をまとめてもらい、この場で話し合うことができればいいと思う。

ウ その他

山本委員) サークル連絡会の会長をやっている。講座終了後に参加者が集まることのできるような企画を催してもよいと考える。

山田委員) 子ども会は年1回くらい開催している。10月19日の区民祭で出展をする。

安藤委員) 文化協会の事務局が市民館にあることもあり、お世話になっている。10月25日に文化祭を実施する。様々な活動があるが担い手が少なくなっているため、告知等についてもこれから考えていく必要がある。

赤野委員) 1月に中原区PTA協議会による「まなPフォーラム」を中原市民館で行う予定。

5 その他

(1) 次回以降(第3回・第4回)の専門部会の予定について

船津課長補佐) 第3回はこれまでと同様に電子メールにて調整する。第4回は令和8年2月14日を開催予定日とする。

(2) その他

特になし

6 閉会